

人文學報

CXIV

特集 人種主義と反人種主義の越境と転換

京都大學
人文科學研究所

2019

人文学報

114

特集 人種主義と反人種主義の越境と転換

京都大学人文科学研究所

2019年12月

目 次

特集 人種主義と反人種主義の越境と転換

はじめに	竹 沢 泰 子	
	ジャン=フレデリック・ショブ	1
〈論文〉		
バスク人とユダヤ人の間で		
いかにスペイン人アイデンティティが人種化したか		
.....	ジャン=フレデリック・ショブ	7
DNA 祖先検査は人種差別主義者の		
イデオロギーの偽りを暴露できるか?	サラ・エイブル	33
統治テクノロジーのグローバルな展開と「人種化」の連鎖.....	関 口 寛	73
—— 日本近代の部落問題の「成立」をめぐる ——		
人種に直面した 20 世紀の法	シルビア・ファルコニエーリ	97
—— フランスとイタリアにおける本国-植民地間の法制史研究 ——		
人種, 自由, 平等, 博愛		
フランスにおける科学と政治の間での「人種」概念の来歴 (1815-1840)		
.....	クロード=オリビエ・ドロン	123
〈研究ノート〉		
反人種差別と霊的普遍主義.....	田 辺 明 生	159
—— 日印ナショナリズムの交差と分岐 ——		
近代日本の人種・人種化論と「国際結婚」言説の変容	長 志 珠 絵	171
日本統治下の台湾における植民地人類学, 「理蕃」政策,		
先住民族の人種化過程.....	アルノ・ナンタ	187
ゲノム情報から見た祖先とは誰か?	太 田 博 樹	195
明治期の地理教科書にみる人種・種・民族	竹 沢 泰 子	205
あとがき	竹 沢 泰 子	239

『人文学報』投稿規定

1. 『人文学報』は、京都大学人文科学研究所が原則として年1回4月に刊行する学術誌で、人文科学諸領域に関する論文、資料紹介、書評などを掲載する。投稿原稿は原則として日本語で書かれ、日本語で初めて公刊されるものとする。
2. 本誌に投稿する資格を持つのは、共同研究班員や受け入れ研究者を含め、京都大学人文科学研究所に制度的に所属する者、および所属した者とする。ただし、編集委員会が適切と判断した場合には、これら以外の執筆者からの投稿も可とすることがある。
3. 投稿原稿の掲載の可否は、編集委員会が指名した専門家による査読にもとづいて、編集委員会が責任をもって最終判断する。編集委員会は、原稿受領後、2ヶ月以内に査読結果を投稿者に通知する。投稿論文は、(A)そのまま掲載、(B)修正のうえ掲載、(C)不可のいずれかに判定される。(B)の判定を受けた投稿原稿が、その後1ヶ月以内に編集委員会の要請を満たす加筆修正を行っていないと判断された場合は、掲載不可となることがある。
4. 投稿希望者は、5月末までに、仮タイトルと400字程度の要旨を編集委員会に提出する。投稿メ切りは8月末日とする。投稿原稿は、『人文学報』編集委員会宛に送付する。とくに枚数の制限を設けないが、論文は12,000～48,000字、書評は4,000～8,000字を目安とする。ただし、他の掲載論文との関係から調整を求めたり、制作実費を申し受ける場合がある。
5. 他雑誌への二重投稿についてはこれを禁ずる。
6. 原稿執筆にあたって、投稿者は後述の『『人文学報』執筆要領』にしたがう。
7. 図版、写真などを掲載する場合は、投稿者の責任において、あらかじめ著作権者から許諾を受けるものとする。
8. 投稿者は、最終原稿の①テキストファイルないしワープロソフトによる文書ファイル、②PDFファイルを編集委員会に提出する。電子データの提出は、電子メールへの添付ないし電子記憶媒体によって行うことができる。
9. 著者による校正は2回とする。
10. 原稿料は支払われない。ただし、希望する著者には本誌1部と抜き刷り30部が無料で提供される。
11. 『人文学報』の掲載原稿について、著者は複製権（電子化する権利）と公衆送信権（公開する権利）に関する許諾を京都大学人文科学研究所に与えたものとする。人文科学研究所は頒布の便を図るために、京都大学学術情報リポジトリを通じて掲載論文等を画像あるいはPDF等の形式で送信することができる。

『人文学報』執筆要領

1. 使用言語は原則日本語とし、原稿は A4 サイズ横書きとする。以下は日本語論文を想定した要領である。
2. 論文には、日本語（800 字程度）と欧文（200 語程度）の要旨を添付し、それぞれキーワードを 5 つずつ記す。
3. 注は文末注とし、本文とは頁をあらためて作成する。本文中の注番号は字肩に上付きで、1), 2) などと記す。
4. 本文・引用・文末注などの書式は各専門分野の慣行に従うこととし、特に規定しない。
5. 論文はいくつかのセクションに分け、各セクションの見出しにはアラビア数字で番号を付す。
6. 図表や写真の掲載を希望する際は、図表に関しては PDF ファイルを、写真に関しては、典拠となる電子データを別途提出する。それぞれに通し番号、表題、出典（該当する場合）を明記し、本文中の挿入箇所を通し番号で指示する。
7. 書評の場合は、対象となる著作の著者名、書名（副題、シリーズ名、巻名も含む）、刊行地、出版社、頁数、定価などを冒頭に記す。
8. 他の言語ですでに発表したものと内容が重なる場合は、冒頭の脚注でその旨明記する。
9. 執筆に関して質問があれば、編集委員会に問い合わせる。

『人文学報』編集委員会の宛先

606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学人文科学研究所『人文学報』編集委員会
電子メール：zinbungakuho@zinbun.kyoto-u.ac.jp

編集委員

竹 沢 泰 子

ジャン=フレデリック・ショブ

石 井 美 保

菊 地 暁

瀬戸口 明 久

高 木 博 志

高 階 絵里加

福 家 崇 洋

人文学報 第114号

(京都大学人文科学研究所紀要 第188冊)

2019年12月20日 印刷
2019年12月25日 発行 非 売 品

発行所 京都大学人文科学研究所
京都市左京区吉田本町

印刷所 明文舎印刷株式会社
印刷者 中 村 仁
京都市南区吉祥院池ノ内町10

THE ZINBUN GAKUHŌ

JOURNAL OF HUMANITIES

Vol. 114

DECEMBER 2019

CONTENTS

Special Issue : Transformation of Racism and Anti-Racism Across Borders

Preface Y. Takezawa / J. Shaub

Articles

Between Basque and Jewish :
How the Spanish identity became racialized J. Shaub

Les tests ADN peuvent-ils démystifier les idéologies racistes? S. Abel

The global development of governance technology and chains of "racialization" :
On the formation of Buraku problems in modern Japan H. Sekiguchi

Race and the law in the 20th century : A legal history between homeland
and colony in the French and Italian empires S. Falconieri

Races, liberté, égalité et fraternité.
La carrière de la notion de "race" entre science et politique (1815-1840) C. Doron

Research Notes

Anti-Racism and Spiritual Universalism :
Connectivity and Diversion of Transnational Nationalisms of Japan and India A. Tanabe

The transformation of race and racialization theory,
and the unchanged "international marriage" discourse in the Japanese empire S. Osa

Colonial anthropology, administration upon the "savages"
and racialization processes in Taiwan under Japanese rule A. Nanta

Who are the ancestors as seen from genomic information? H. Oota

Race, species, and ethnicity described in textbooks during the Meiji period Y. Takezawa

Afterword Y. Takezawa

Published

by

THE INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

ISSN 0449-0274